

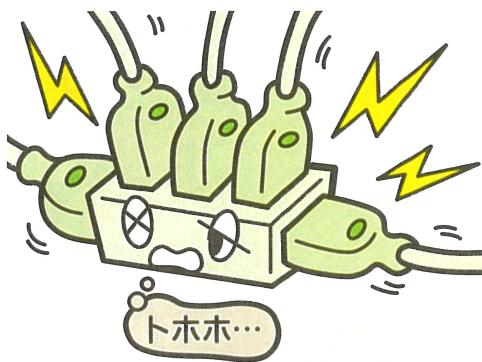
電気を正しく安全にお使いください



ムリや「まあいいか…」にご注意ください



長期間、差し込んだままの電気器具はプラグを抜いて乾いた布でホコリや湿気をふき取りましょう。



テーブルタップの容量を超えると過熱の原因になります。たこ足配線はやめましょう。

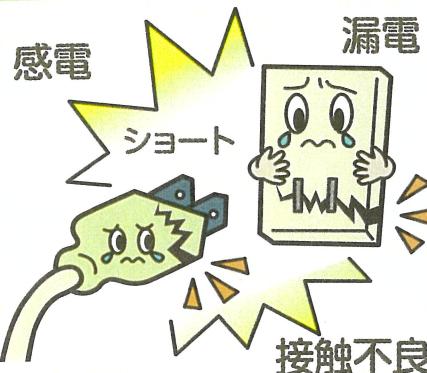


濡れた手でコンセントやプラグに触れるのはやめましょう。

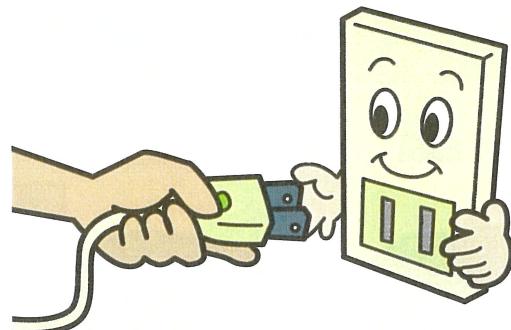


コードへの打ち付けは断線や過熱の原因になり危険です。電気工事店に工事を依頼しましょう。

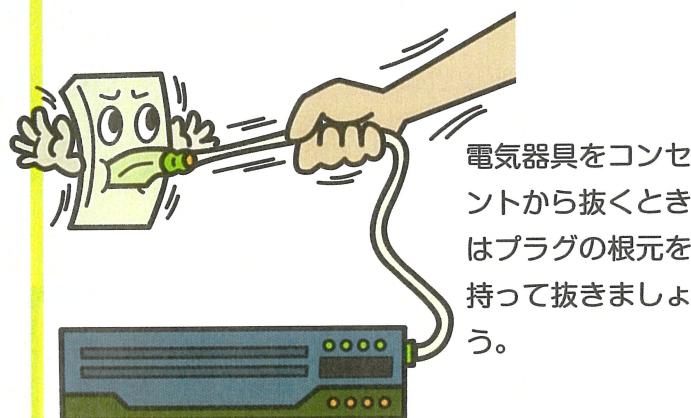
毎日の暮らしに欠かせない便利なエネルギー、電気。しかし、簡単に使えるから……、スイッチを入れるだけで便利だから……といって、まちがった使い方をしたり、故障した電化製品をお使いになりますと、感電したり漏電から火災をおこすなどの事故につながってしまいます。このパンフレットは、皆さんに電気を正しく安全にご利用いただき、ステキな暮らしにお役立ていただけるよう、お届けいたしました。



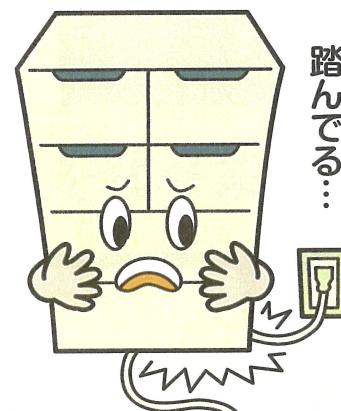
コンセントの破損は感電の原因になり危険です。
電気工事店に修理を依頼しましょう。



差し込み不足は過熱の原因になります。プラグはコンセントにしっかり差し込みましょう。

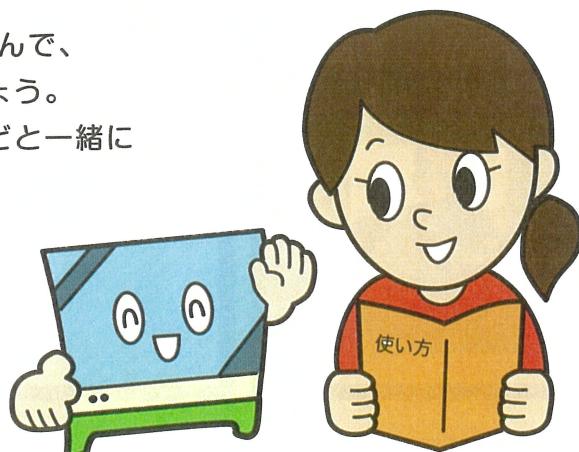


電気器具をコンセントから抜くときはプラグの根元を持って抜きましょう。



断線や過熱の原因になりますので、コードの上には家具類を置かない(踏みつけない)ようにしましょう。

電化製品の取扱説明書は必ず読んで、操作方法、注意事項を守りましょう。
読み終えた説明書は、保証書などと一緒にわかりやすい所に保管しましょう。



屋外器具の破損や雨水の浸入は漏電の原因になり危険です。電気工事店に修理を依頼しましょう。